

結氷したポロト湖でワカサギ釣りを楽しむメキシコの高校生



ワカサギ釣り楽しむ

白老

室蘭・海星学院高校(堺俊光校長)を訪問しているメキシコの高校生11

人が同校の生徒8人と一緒に25日、結氷している白老・ポロト湖でワカサギ釣りを楽しんだ。

ベラクルス州立大付属ハラバ校の生徒たちは、直径10センチほどの穴に釣り糸を垂らし、魚信を待った。最初に歓声が上がったのは海星学院高校の生徒がウグイを釣り上げたとき。次いでお目当てのワカサギを一度に2匹釣り上げたのはハラバ校の女子生徒。拍手と歓声が雪原に広がった。

長さ5センチほどのワカサギをゲットしたサルキス・クルス・パオラ・ステファニアさん(17)は笑みを浮かべながら「うれしいです。でも魚を殺してしまうのは悲しい」と話した。ハラバ校の生徒と英語で積極的に話した荒井祐人さん(3年)は「きのう(24日)はメキシコの食文化を通じて交流でき、いい経験になりました」と言いながらさお先を見つめていた。

一行はこの後、白老・アイヌ民族博物館を訪問し、古式舞踊を見学した。(富士雄志)

ポロト湖でメキシコの高校生